

## 「表現未満、」実験室 公式ガイドブック

### 目次・CONTENTS

- 01 「表現未満、」実験室とは？
- 02 図解！「表現未満、」実験室
- 04 1月のスケジュール
- 06 2月のスケジュール
  
- 08 「表現未満、」の実験 ～アルス・ノヴァ編～
- 09 「表現未満、」の実験 ～市民編～
  
- 12 スタジオ・アルス
- 14 しえんかいぎ
- 16 公開トーク
  
- 17 「たけし文化センター」から、「まるまるまる○○○」センター、  
そして「その先」へ…

(うら表紙) アルス・ノヴァのメンバー紹介

## 「表現未満、」実験室とは？

「表現未満、」とは

その人の姿を現している行為

それが、その人の生活や生き方を醸し出していること

特別な人の特別な行為ではなく、個人の生活文化であること

何かのためにやっているのではなく、やらざる得ない情動

……

それらに私たちは日々向き合っています。

それらは取るに足らないと、通常では思われています。

しかし、私たちはそうしたことごとくにむしろ光をあて、それこそが大事だと考えています。

そして、これをもっと広めていきたいと思っています。

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツは、2000年の設立より、様々な人たちがともに生きる社会の実現を目指してきました。この「表現未満、」に光をあてることによって、他者の価値観や生き方を知り、理解し、ともに生きる社会について積極的に動き始める。そんな「表現未満、」のムーブメントを広げていきたいと考えています。

2008年から始まった「たけし文化センター構想」は、「くぼたけし」という個人が日々生きる中で毎日のように続けるこだわりや行為を、問題行動や病理として捉えるのではなく、「個人の熱意」として目撃し直すことから始まりました。さらに、今、個人から発せられる行為そのものを「表現未満、」と捉えなおし、それを目撃する他者の存在を通して、「あなた」と「わたし」の多様な関係性を作り出しています。わたしたちはどのように目の前の人との「表現未満、」を物語るのでしょうか。

既存の、ケアされるもの/するもの、障害/健常、包摂/排除といった二項対立の構造をこえて、編み出されていく多彩な物語は、新しい価値観を作り出していることができるでしょうか。

2017年1月16日から2月25日までの約40日間、浜松市の中心市街地のど真ん中で「表現未満、」実験室を開きます。レッツでは、全国でもまだ例のない重度の知的障害のある人たちを中心に様々な人たちが交流するオルタナティブスペースと、市井の人々が取り組んでいる「表現未満、」を、実践、実験、発掘し、広げ、育み、発展する「○○○センター」を目指しています。

皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ

代表 久保田翠